



# 朝霞第四小だより

《学校教育目標》  
かしこい子  
やさしい子  
たくましい子

朝霞市立朝霞第四小学校 〒351-0015 朝霞市幸町1-6-9  
TEL (461) 0363 E-Mail 4shou@city.asaka.saitama.jp

## 四小のバトンを引き継いでー卒業式ー

校長 高田 雅志

早いもので春3月、この冬の寒さも和らいで来ました。3月は一年間の学習や生活のまとめの時期、まもなく卒業や進級の時期を迎えます。

3月24日には6年生が卒業式を迎え、この四小を巣立っていきます。そんな卒業生の思い出のアルバムに贈った文章の内容を以下に転記します。

**6年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。**

みなさんが卒業することで、校歌にうたわれた旧校舎の「四小」を学びの場として過ごした児童がすべて卒業したことになります。

今度の四月からは全校の児童が、四小が新校舎に移ってから入学した学年になる。それはそれで悪いことではないのですが、『松の林に吹く風もさわやかに…』と歌う校歌の風景を実際に知っている人が校内にはいなくなるというのは、時の流れとはいえ少しさびしい気もします。

もとより校長の私自身も旧校舎には立ち入ったことがないのですが、夏の虫とりなどで行く学年に付きそって旧四小校地に入って中庭を歩いたとき、思わず校歌の一番が口をついて出てきました。

そんな思いをみなさんやその前に本校を巣立っていった何千人もの卒業生が、共通に持つことができているというのはすばらしいことです。

もちろん卒業まで過ごした今の校舎も、みなさんにとって思い出のある場所といえるでしょう。そんな人々の「思い」が積み重なって、その場所が大切な『ふるさと』となっていくでしょう。

この四小での思い出を大切にしつつ、これからより大きな世界へと羽ばたいて行って欲しい。みなさんの将来に幸多かれと願い送り出します。

そしてバトンを受け継ぎ四小の新しい歴史を積み重ねていく在校生のみなさん。そんなみんなを頼もしく思うことが二つあったので、合わせて記しておきます。

一つは、この前の雪の降った日の翌朝、西門のところでみんなの登校を見守ってくださっていた朝霞市教育委員長の鈴木泰代先生から、「昨日も朝ここであいさつをしていたら、最後に通った5年生ぐらいの女の子が『わたしで最後です。いつもありがとうございます。』と声をかけてくれたんですよ」と伺ったこと。…温かい気持ちのリレーがここでも受け渡されています。

もう一つ、朝霞市ひざおり市民センターの方からお電話があり「四小の4年生の数名が、他の利用者が汚した場所の掃除をしていたら手伝ってくれました。ありがとうございました。」とのこと。学年の先生がたにも伝えてもらいましたが、本当にうれしいお電話でした。